

## 平成26年度 危機管理部 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
危機管理部長 上田 和政	<p>●使命 私たち危機管理部は総合計画に掲げる「人と自然が織りなす幸せ実感都市瀬戸内市」の将来像に向かい、市民が安全で安心できる暮らしを実現するため、行政、市民、地域が一体となった取組みを行い、市民の防災意識、交通安全意識、防犯意識の向上を図ります。</p> <p>●基本方針 ①防災意識の高いまちを目指して地域防災計画の改訂を行うとともに、自主防災組織の育成、職員の災害対応能力の向上に努めます。 ②地域みんなで防犯に力を入れるまちを目指して、瀬戸内警察署や自主防犯組織と連携を強化するとともに、防犯灯のLED化を促進します。 ③交通事故ゼロのまちを目指して、交通安全団体と協力連携し、交通安全教室、啓発活動を実施します。</p>	所管課	危機管理課		
		人員	正職員	臨時職員	合計
			5人	1人	6人
		一般会計	90,465 千円		
		特別会計	— 千円		
		計	90,465 千円		
	(うち正職員人件費)	(45,322 千円)			

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況	
1	地域防災計画の見直し・業務継続計画の策定	災害対策基本法の改正、国の防災基本計画及び岡山県地域防災計画の修正に準拠した瀬戸内市地域防災計画を改訂します。業務継続計画（BCP）の策定を行います。	防災会議の開催 地域防災計画の改訂 業務継続計画（BCP）の策定	委員の委嘱を行い、1月に防災会議を開催予定です。 地域防災計画の改訂に向け、現在作成を進めています。 業務継続計画（OCP）についてはワークショップを開催中です。	岡山県地域防災計画修正後の公表を待って、市防災計画の改訂を始めたため業務に遅れを生じ、繰越明許し、H27年度上半に防災会議を開催します。 業務継続計画（OCP）ワークショップの4回目が1月23日に終了し、マニュアル作成を進めています。	市地域防災計画の改訂に係る予算繰越の承認を経て、校正、パブリックコメント、防災会議開催等の事務処理を進めています。 業務継続計画（OCP）のマニュアルについては、次年度に継続して作成します。

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況	
2	自主防災組織の育成	市民の防災意識の高揚と自主防災組織の結成促進を図るため、市内3地区で防災研修会を開催します。また、自主防災組織を牽引するための防災リーダー研修を通じてリーダーの養成・発掘等により地域防災力の活動創出を図ります。	市内自主防災組織率 70% (平成25年度末 66.6%) うち組織認定率 20% (平成25年度末 9.8%) 防災リーダーの養成 140名	自主防災組織率 68.9% 認定率 17.1% 防災リーダー研修を12月13日に開催する予定です。市内3地区で各3回の防災研修を開催する予定で、現在、各地区1回を開催しました。	自主防災組織率 69.8% 認定率 18.6% 防災研修会を開催中であり、1地区終了、ほか2地区は2月中に終了予定です。12月13日防災リーダー研修を開催し、本年度77名の防災リーダーを養成しました。	自主防災組織率 71.5% 認定率 20.6% 防災研修会を3地区で完了し、組織率及び認定率とも成果目標率を達成しました。 防災リーダー研修を実施し、本年度77名の防災リーダーを養成しました。
3	職員の防災・災害対応能力の向上	職員の危機管理に対する日常的な自覚と災害対応能力の向上を図るため、災害対策基本法、国の防災基本計画の改正事項等についての職員研修を実施します。市の防災体制、各危機事象対応マニュアル作成を進め、防災・減災等危機管理対策の強化に繋がります。	職員防災危機管理研修会開催 (災害対策基本法の改正点) (国の防災基本計画の修正点) (市防災計画の修正) 危機事象対応計画の策定 (各危機事象対応マニュアル等の作成)	8月に職員防災危機管理研修会を開催しました。 危機事象対応計画の運用を開始しました。	左記と同じ (実施完了済)	市職員防災危機管理研修会を開催し、危機管理に対する日常的な自覚と災害対応能力の向上を習得できました。 危機事象対応計画の運用を開始し、危機事象に対処しました。
4	防犯活動の推進	瀬戸内警察署や自主防犯組織等との連携を強化し、JR3駅を中心とした防犯パトロールや、青パトによる巡回等、市内の防犯活動を推進します。また、主要道路にLED防犯灯を設置するとともに、LED防犯灯を設置する自治会に対し補助金を交付し、防犯効果の向上を図ります。	犯罪刑法犯件数300件以内 (平成25年313件) LED防犯灯設置数 15基 LED防犯灯自治会設置数200基 防犯カメラ設置 2基 (長船駅駐輪場) 青色回転灯パトロール (市職員実施 135回/年)	LED防犯灯設置数 6基 LED防犯灯自治会設置数 130基 防犯カメラ設置 2基設置済 (長船駅駐輪場)  職員による青色回転灯パトロールを実施しています。	LED防犯灯設置数 13基 LED防犯灯自治会設置数 191基  職員による青色回転灯パトロールを実施しています。	犯罪刑法犯件数313件(平成26年) LED防犯灯設置数14基 LED防犯灯自治会設置数 206基 市職員による青色回転灯パトロール実施回数は64回/年で、目標値の約半分の実績値となりました。

	重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
5	交通安全教育の啓発	正しい交通ルールとマナーを理解し、安全な行動がとれるよう、幼児期からの交通安全教室を行います。また、交通事故防止を図るため、警察署や交通安全団体と連携し交通安全教室や啓発活動を実施します。	市内人身事故発生件数 平成26年160件以内 (平成24年1～12月：170件、 平成25年1～12月：189件) 交通安全啓発活動 (保育園・幼稚園：30回) (小学校・中学校：20回) (高齢者・一般：30回) (春・秋交通安全運動：20回)	4月、9月の交通安全県民運動に合わせて啓発事業を実施しました。	10・11月高齢者事故防止、夜光反射材の着用促進街頭指導実施を2回、12・1月早めのライト点灯街頭啓発活動を3回実施しました。市内人身事故発生件数は(平成26年1～12月：163件)で目標値を3件超えました。	市内人身事故発生件数は目標値を若干上回ったが昨年度に比べ29件減少しました。交通安全啓発活動市(保・幼：60回)市(保護者：2回)警察(保・幼：9回)警察(一般：21回)高齢者含む)